

2025 年 8 月 25 日

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社
秋田県大館市
北鹿地域林業成長産業化協議会

～三菱地所レジデンス、秋田県大館市、北鹿地域林業成長産業化協議会～

**「大館市産森林認証材等の利用拡大に関する
建築物木材利用促進協定」を締結**

三菱地所レジデンス株式会社（以下、三菱地所レジデンス）、秋田県大館市（以下、大館市）、北鹿地域林業成長産業化協議会（以下、北鹿林成協）の三者は、2025 年 8 月 25 日に「大館市産森林認証材等の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定」を締結しました。

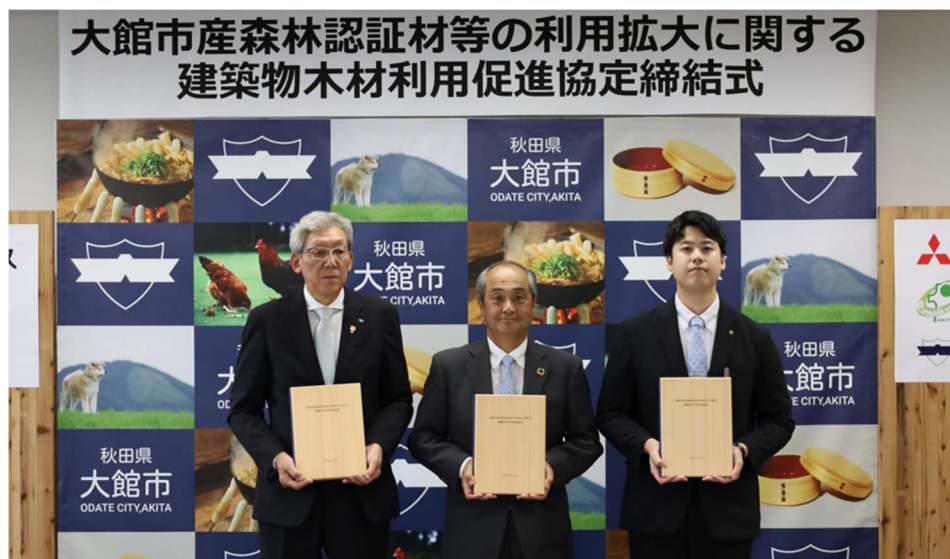
【協定に基づく主な取り組み内容】

- (1) 大館市産の森林認証材や木材加工品の建築物への利用促進
- (2) 供給体制の整備、情報共有による木材の安定供給体制の構築とトレーサビリティの確保
- (3) 地域林業・木材産業の振興、木材利用に関する普及啓発活動の共同実施

三菱地所グループは、グループ各社が一体となり、木材活用を通じた環境負荷の低減に取り組んでいます。木質建材の積極的な導入や森林資源の持続可能な利用により、脱炭素社会の実現を目指しています。その中で三菱地所レジデンスは、「森林循環（再造林）が約束され、トレーサビリティが確保された木材」の利用を通じて、環境配慮と地域貢献に寄与する木材活用を推進しています。今回の協定締結により、大館市の地域資源である秋田スギをはじめとした森林認証材や木材加工品の建築物への利用を促進し、持続可能な森林経営と地域経済の活性化を支援してまいります。

大館市は古くから林業及び木材産業が盛んな地域であり、秋田スギの産地として知られています。また、林業、製材、木材製品加工を同一地域で完結でき、森林認証材の拡大を通じた森林再生や森林循環が明確に示される稀有な地域であり、今回の協定による三菱地所レジデンスへの森林認証材や林産物の提供をきっかけに森林認証材の利用拡大を進めてまいります。

北鹿林成協は、三菱地所レジデンスらが森林認証材等を活用できるよう森林認証材等の供給体制を整え、伐採跡地での再造林推進および生物多様性に配慮した持続可能な森林経営を行ってまいります。



▲（左から）大館市 副市長 北林武彦氏、三菱地所レジデンス株式会社 代表取締役 社長執行役員 宮島 正治
北鹿地域林業成長産業化協議会 会長 ・大館市長 石田 健佑氏

三者は、第一弾プロジェクトとして、三菱地所レジデンスが開発する建築物への木材利用を計画しておりますが、今回の協定の締結によって、脱炭素社会の実現と地域林業の持続的発展への貢献を目指してまいります。

■協定の概要

- ・協定名称：大館市産森林認証材等の利用拡大に関する建築物木材利用促進協定
- ・有効期間：2025年8月25日から2030年3月31日まで

【建築物木材利用促進構想およびその実現に向けた取り組み】

＜三菱地所レジデンス＞

自社で開発する不動産事業において、再造林の実施が適正に行われ、かつ生物多様性に配慮した森林経営がなされている森林から生産された木材（森林認証材等）を積極的に活用し、森林資源循環に資する木材利用の推進に努める。

- ・協定者間の相互理解を深めるための機会創出を目的とした意見交換の実施
- ・森林認証材等の利用における意義を広める情報発信として、関係者説明会や外部講演等の共同実施
- ・森林認証材等の活用促進、販路拡大に資する販促資料の共同作成と普及に向けたパイロット案件の提供
- ・事業サイドから見た森林認証材等の活用における課題の共有と課題解決への協業
- ・新築分譲マンション「ザ・パークハウス 武蔵小杉タワーズ」等において森林認証材等の活用を検討し、その後も事業における活用の促進

＜大館市＞

森林認証材等の利用促進に関する補助制度などの情報提供、事業への支援、意見交換などを通じ、三菱地所レジデンス及び北鹿林成協の構想実現に寄与する。

＜北鹿地域林業成長産業化協議会＞

森林認証材等の安定供給等の協力を通じた木材利用の促進により、森林資源の循環利用、ひいては地域林業の成長産業化の実現に努める。

- ・三菱地所レジデンスの不動産開発事業において、森林認証材等を活用できるよう予め供給体制を整え、適宜関係者との調整を行う
- ・協定者と連携して伐採跡地での再造林推進ならびに生物多様性に配慮した持続可能な森林経営を行う
- ・協定者より林業並びに木材加工現場見学の要請があった場合、会員の派遣又は適地、適所の提供等の協力を行う

【参考】協定に至る経緯について

三菱地所株式会社が事務局・部会長を務める「一般社団法人日本ウッドデザイン協会」のビジネスマッチング部会にて、三菱地所レジデンスが森林認証材による型枠トレーサビリティ普及に関する活動を行っていることと大館市が地域一体で森林認証材及び森林認証材の需要拡大を目指しているという一致点があったことから意見交換をはじめました。三菱地所レジデンスが目指している木材活用方針と大館市が目指している森林認証材の拡大と需要開発がうまくマッチしたことで、今回の協定締結に至っており、ビジネスマッチング部会の活動が功を奏した好事例になっています。

【参考】秋田県大館市について

秋田県の内陸北部に位置する大館市は、大館盆地に位置し、秋田県・青森県・岩手県の東北3県を中心に結ぶ交通の要衝として栄えてきました。市の総面積の約79%を森林が占めており、古くから林業及び木材産業が盛んな地域でもあります。豊かな自然環境の中で、天然記念物「秋田犬」「比内鶏」や三大美林「秋田スギ」、伝統的工芸品「大館曲げわっぱ」、林業遺産「長走風穴種子貯蔵倉庫遺構」、秋田名物「本場大館きりたんぽ」などが守り育てられ、今の大館市を形作っています。

大館市のマスタープランである「おおだて未来づくりプラン」には、豊かな森林（もり）を活かす政策として森林認証材の供給や再造林率の向上などを掲げています。由来の明確な木材利用を推進していくことで需要者・利用者と大館市の森林（もり）との接点を作り、持続的な顔の見える関係構築による「伐って、使って、植えて、育てる」循環の輪を広げていきます。

【参考】北鹿地域林業成長産業化協議会について

北鹿地域林業成長産業化協議会は、秋田県の米代川上流域の秋田スギをはじめとする森林資源の「循環の輪」の創造を目指し、地域の充実した森林資源の最大活用と資源循環の確立を目指すために産学官連携組織として2017年に設立されました。

設立以降、地域の林業・木材産業の成長産業化の実現に向けた活動を行っており、行政機関に加え、川上（森林組合・素材生産・苗木生産等）・川中（木材加工・木材流通・家具・伝統的工芸品等）・川下（住宅事業・建設設計等）に至る各分野の事業者が参画する総勢97会員で構成されています。

森林認証の取組においても設立当初から取得・拡大に向けて進めており、現在、北鹿林成協を事務局としたグループ認証面積は約7,328haとなっています。今後も協議会会員の協力のもと、生物多様性を高める持続可能な森林経営を目指すとともに、森林認証林の拡大及び森林認証材の安定供給に取り組んでいきます。

【参考】一般社団法人日本ウッドデザイン協会について

一般社団法人日本ウッドデザイン協会は、木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発する機関です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力により、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、脱炭素化等環境と資源に配慮した持続可能な社会の実現を図り、もって広く社会に貢献することを目的としています。

以 上